

学校長通信 No.10

泉佐野市の学校として

先日、大阪府教育委員会の主任指導主事 2 名と泉佐野市教育委員会をお訪ねいたしました。今年 4 月に着任いたしましてから 8 カ月が過ぎようとしておりますが、この度の市教委訪問は初めてのこととなります。日根野高校は府立学校ですので、市教委様とは直接の繋がりが薄いと言えばその通りなのですが、お預かりしている生徒の多くが泉佐野市民であり、また泉佐野市立中学校の出身者でございますので、決して無関係ということはなく、むしろ、もっと早い時期にごあいさつに上がるべきところでした。

お会いいたしましたのは、教育長様と学校教育課長代理様、部局の担当理事様の 3 名様で、表敬のご挨拶という趣旨もございましたが、同時に「日根野高校のミッションとそれに向けてのビジョン」をお話しさせていただくという機会にも恵まれました。本校のミッションとは「自立し、友を愛し、共に生きていく人材の育成」にあります。そのために「グローバル人材と大阪グローバル人材という二つの価値観」をかけた、「実践的な三つの専門コース」と「言語能力及びそれを活用した自己表現能力の開発教育（平たく申し上げますと、プレゼンテーション能力開発）」を通じて目標達成していくという中期ビジョンをお示しさせていただきました。この「日根野スタイル」を分かりやすくお伝えするとともに、本校の学校運営へのご支援をお願いするというのが、この度の市教委訪問の主旨でございましたので、その意味におきましては、一定の成果が得られたものと考えております。

もちろん、教育の成果とは、日々、現場において地道に積み上げられていくものであり、私が何をしたからというようなことで展開していくものではございません。校長としてできることは、少しでも現場が動きやすい環境を整備あるいは維持していくことで、成果は生徒・保護者・そして私ども教職員全員の努力の総和であると考えています。そして、その成果とは、「生徒が自分で考え自分で決めた進路を実現できた達成感」に行きつくものと思っております。市教委様とお話しできましたことは初めてでしたが、地元泉佐野に貢献する人材育成にかける思いは共通でございます。これをきっかけに、密接な相互連携が取れるようになれば、これに勝るものはないと考えます。